

改選後初の3月定例会開催される

市議会議員選挙では大変お世話になり、心より感謝申し上げます。積極的な発言と行動で「元気な渋川」に向け、全力で頑張ります。定例会の主な内容は次の通りです。

緊急支援のための交付金活用事業

国の「地方の好循環拡大に向けた緊急経済対策」には、地域住民生活等緊急支援のための交付金として、「地域消費喚起・生活支援型」及び「地方創生先行型」が創設されましたが、この交付金（1億9400万円）を活用したプレミアム付き商品券やふるさと旅行券の発行、住宅リフォームへの助成、渋川駅前通り商店街等の空き店舗解消対策などを3月補正予算に盛り込みました。

新市誕生10周年記念プレミアム付き商品券発行

プレミアム付き商品券は、新市誕生10周年記念事業でもあり、プレミアム率は30%（1セット1万円で1000円券13枚分）です。販売数は、3万2000セットを予定しています。広報しぶかわの4月1日号で案内を出し、購入方法などの詳細は、広報しぶかわ6月1日号と一緒に配布するチラシによりお知らせすることになります。予定では、申請された方に引換券を交付し、8月に販売を開始します。販売期間は1週間を見込んでいますと説明がされました。

ふるさと旅行券については、更なる誘客の促進と地域経済の活性化を目的に、5000円分の宿泊券を2500円で販売するものです。予算額は750万円、対象施設は、市内全域の登録施設です。購入方法等詳細は、広報しぶかわ6月15日号でお知らせの予定です。

住宅リフォームへの補助額は、今年度に限り上限を20万円とします。工事費20万円以上で補助率は工事費の10%です。補助金の予算額は2000万円、予算が終了次第締め切りとなります。

空き店舗解消対策については、15件分を予定しています。市の借り上げが2件、民間活用が13件となります。



渋川市議会議員
しのだ 徳寿

〔後援会事務所〕
大同特殊鋼（株）渋川工場労働組合内
TEL 0279-23-5198
FAX 0279-24-3820
ホームページ
<http://geo.t-shinochan55.com/>
篠田徳寿でも検索できます。

市長・副市長及び教育長の期末手当を減額

厳しい財政状況下において、市長・副市長及び教育長の期末手当を減額するものです。市長は30%、副市長は20%、教育長は10%の減額となります。

渋川市庁舎建設基金条例を制定

庁舎の建設、その他整備に要する費用の財源に充てるために基金を設置するものです。基金として積み立てる額は、一般会計歳入歳出予算で定まる額としていますが、平成27年度は1億円としています。新庁舎を建設するためには、約70億円の建設費が必要となるため、起債により75%を確保しても、資金として25%が必要になります。



渋川市役所本庁舎



渋川市役所第二庁舎

通園・通学バスの使用料を無料化

子育て支援の充実を図るため、月額1000円の通園（公立幼稚園）・通学バス使用料を無料化するものです。私立幼稚園の通園バスに対しても使用料の補助があります。

通学バスの使用距離を25km以上としていることや通園バスの無い公立幼稚園などもあるため、地域性や平等性などの観点から、今後、通学バス使用の拡充や見直しを要望しました。

介護保険料を改定

第6期介護保険事業計画に基づき介護保険料が改定されます。65歳以上の高齢者（第1号被保険者）の介護保険料は、各市町村が3年に1度見直しをしています。平成27年度は改定の年で、平成29年度までの保険料が決まり、改定後の基準月額額は、6034円となり767円の値上げとなります。

介護保険事業費は、第5期（平成24年～平成26年度）の合計で211億7337万円であり、第6期（平成27年～平成29年度）の合計は、243億37万円を推計しています。平成27年度の高齢化率は29.7%で、要支援・要介護の認定者数は平成26年が4479人、平成29年は、5303人を推計しています。

平成27年度予算関係

一般会計当初予算は352億1400万円

予算編成にあたっては、将来にわたり持続可能な健全財政を維持していくために、「重点施策への取り組み」、「第3次茨川市行政改革大綱実施計画の推進」及び「安定した行財政基盤の確立と一般財源枠配分方式の実施」の3点を基本としています。

一般会計予算は352億1400万円（前年度比1.3%減）各特別会計、水道事業会計及び病院事業会計を合わせた総額は、648億4660万円（0.7%の増額です。平成26年度3月補正による次年度への繰越明許費は、国の経済対策や被災農業者向け支援などで23億1298万円です。

一般会計の主な歳入

- ・市 税：104億2685万円（0.9%減）
- ・地方交付税：88億0000万円（6.7%増）
- ・国庫支出金：34億2480万円（89.9%減）
- ・県支出金：22億5479万円（27%減）
- ・市 債：56億5400万円（13.2%増）

一般会計の主な歳出

- ・総務費：63億2099万円（14.6%増）
- ・民生費：110億2601万円（3.4%減）
- ・土木費：28億2590万円（11.9%減）
- ・教育費：50億9602万円（2%増）
- ・公債費：32億4992万円（1.1%減）
- ・労働費：4168万円（25.6%減）
- ・農林水産業費：14億9063万円（32%減）
- ・商工費：9億7485万円（72%減）
- ・消防費：12億556万円（18.6%減）
- ・議会費：2億6673万円（41%減）

主な事業

- ・庁舎建設基金：1億2万5000円
- ・南部地域振興事業：4万3000円
- ・公共施設等総合管理計画推進事業：5万9000円
- ・新市誕生10周年記念式典実施事業：191万9000円
- ・病院再編統合事業：19億1517万8000円
- ・子ども医療費助成：2億6788万3000円
- ・生活扶助費給付事業：8億5296万円（41.8世帯）
- ・臨時福祉給付金事業：1億4921万円（消費税対応）
- （住民税均等割非課税者に6000円を支給）
- ・子育て世帯臨時特例給付金事業：4105万円
- （対象児童1人に3000円を支給）
- ・不妊治療費助成事業：1084万円
- （特定不妊治療費は、1年度に2回申請可）
- ・商店街活性化支援事業：200万円
- （特色あるイルミネーションイベントの実施）
- ・観光PR推進事業：2370万円
- ・渋川へそまつり実施事業：730万円
- ・（仮称）北橋運動場周辺道路整備事業：2751万円
- ・大同南歩道設置詳細設計：472万円
- ・通学路の交通安全対策事業：294万円

- ・伊香保温泉景観整備事業：1204万円
- ・公園施設長寿命化対策整備事業：3294万円
- ・小学校空調機器整備事業：1億4358万円
- （設置工事・豊秋小、長尾小、橋小）
- ・通学バス運行事業：8085万円
- ・上三原田歌舞伎舞台保存活用事業：1006万円
- ・スポーツ指導者派遣事業：432万円
- ・（仮称）北橋運動場整備事業：4億1983万円

茨川総合病院跡地利用特別委員会を設置

茨川総合病院が平成28年3月で廃止されることに伴い、その跡地利用について、有効活用を図るため、検討を行ってきましました。一定の方向性で調整が進み、事業方針が示されたことから、議会として特別委員会を設置し、対応するものです。

事業展開としては、子育て支援の拠点づくり、若者の集う学校の誘致、高齢者への地域支援としています。課題として、起債の償還及び補助金の返還があり、国庫補助金の残は、3億9000万円、起債は、10億1700万円との説明がされています。土地及び建物については、国庫納付金が条件とならない、無償貸し付けが有効との考えが示されています。

オリックスがメガソーラーを整備

自然エネルギーの有効活用と公有財産の有効活用を図ることを目的に、土地の貸し付けによる財源の確保に努めるものです。実施期間は20年間とし、発電規模は、年間280万3888キロワットアワー（一般家庭の779軒分）です。予定地は、上ノ原の林地で平成29年5月に売電開始の予定です。

地域の卒業式の様子



茨川中学校卒業式



豊秋小学校卒業式

建設工事等の入札制度の見直しについて

情報の漏えいを未然に防ぐことを目的に、予定価格を事前公表及び最低制限価格を変動型の最低制限価格制度とすることになりました。変動型の最低制限価格制度は、開札時に、最低制限基準価格に無作為に算出された係数を乗じて算出する方法とし、事後公表となります。